

ICTによる地方創生の事例(北海道函館市)

水産業におけるリソース・シェアリング (情報と資源の共有) (北海道発！ICT漁業プロジェクト)

課題：沿岸漁業の厳しい現状

- ・ 漁業者の高齢化、後継者不足
- ・ 海洋環境の変化、水産資源の減少
- ・ 燃油の高騰、魚価の低迷

競争的な漁業
勘と経験の専有
(変化に弱い)



解決：沿岸漁業の明るい未来

- ・ IT漁業による技術継承、後継者育成
- ・ IT漁業による生産管理、資源管理
- ・ IT漁業による効率化、高付加価値化

協調的な漁業
情報と資源の共有
(変化に強い)

漁船漁業のための「うみのレントゲン」

※ICTを活用した資源管理システムで水産資源を見える化



ICT漁業

- ・ ICTの役割：水産資源と海洋環境を見える化すること
- ・ 漁業者の役割：持続的な沿岸漁業に取り組むこと

養殖業のための「うみのアメダス」

※ ICTを活用した海洋観測システムで海洋環境を見える化

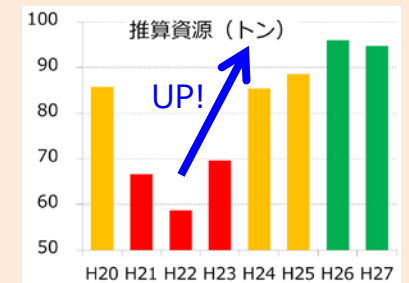
「勘」と「経験」と「情報」による持続可能な沿岸漁業を実現！

うみのレントゲン

- ・ なまこ資源のV字回復 (1.6倍)、1.4億円のなまこ貯蓄
- ・ 漁業協同組合など全国の30団体 (計158隻) に技術移転

うみのアメダス

- ・ 従来の海洋観測ブイの10分の1の価格、50分の1のランニングコスト
- ・ 延べ326基のユビキタスブイによる全国沿岸の水温観測網を構築



なまこ資源の推移 (留萌市)